

「検証の礎」 部隊実験（実動検証）に資する技術情報の提供依頼

教育訓練研究本部は、将来の技術進展を見据えつつ、将来の作戦環境における陸上自衛隊の戦い方の具体化、充実に資することを目的に、令和5年度から部隊実験（実動検証）を実施しています。

令和6年度の部隊実験（実動検証）については、将来作戦環境を模擬・代替するための検証基盤の一部にイノベーションをもたらす可能性のある民生技術を活用したいと考えています。

このため、国内外、企業規模等を問わず、下記のとおり、企業からの技術情報の提供を依頼しますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

令和6年4月1日
教育訓練研究本部長

記

1 募集の目的

本募集は、令和4年に閣議決定された安全保障関連3文書を踏まえた陸上自衛隊の新たな戦い方を生み出すために、教育訓練研究本部が行う部隊実験（実動検証）において、イノベーションをもたらす可能性のある技術について情報収集を行う（以降、これを「検証の礎（いしずえ）」と呼称する。）ことを目的とするものです。

2 情報提供を求める技術

「別表」のとおり。

ただし、令和5年3月1日付文書「部隊実験（実動検証）に資する技術情報の提供依頼」に基づき既に提出頂いた技術情報を再提出される場合は、性能・技術上の差異（向上した事項等）について付記して下さい。

3 提供できる企業の要件等

- ① 日本国法人である企業
- ② 上記2の機能を満たす技術のうち、国内環境（特に国内法）の制約下で令和6年6月から令和8年3月の間に野外環境における実動検証を行うことが可能な提案をできる企業

4 ご協力の申し込み

情報提供いただける企業は、令和6年5月31日（金）17時までに、情報提供意思表明書（別添）に上記3の要件を確認できる資料を添付のうえ、担当窓口（下記7）に提出してください。

5 今後の進め方

お申込みいただいた情報提供意思表明書に記載された「提供される技術内容」について、必要に応じ記載内容の確認をさせていただきます。

なお、記載内容の確認を行うことが、将来における本技術に関連する何らかの事業の実施を約束するものではありません。

6 その他

- (1) 本情報提供に関して使用する言語は日本語とします。
- (2) 貴社が提出された情報提供意思表明書は、行政機関の保有する情報の公開に関する法律による開示請求があった場合、教育訓練研究本部が開示することを制限した内容を除き、開示することを前提とします。
ただし、貴社が防衛省以外に開示制限を希望する情報については、具体的内容及び理由を明記することにより、貴社の許可なく開示することはありません。
- (3) メールにより資料を提出する際は、件名に「【検証の礎】●●株式会社」のように、冒頭に【検証の礎】を付したのちに企業名等を記載のうえ、メールにて送信してください。

7 担当窓口

教育訓練研究本部 研究部 第2研究室
住 所：〒153-8933 東京都目黒区 中目黒2-2-1
電 話：03-5721-7009(内線 7638)
電子メールアドレス：2r1-grd@inet.gsdf.mod.go.jp

情報提供を求める技術

別表

区分	民生品・民生技術	検証における運用要領
情報	SAR衛星	<ul style="list-style-type: none"> ○ 敵SAR衛星に対する火力戦闘部隊の偽装、欺騙等の実効性を確認 ○ 敵船舶、水陸両用車等の進出状況（数、所在位置等）を撮影
	警戒・監視用UAV	火力戦闘部隊、後方支援部隊から数km四方の敵情を収集し、情報共有ツールにより共有
	目標情報収集用UAV	洋上（10数km以上を想定）及び沿岸部（数km以内）における目標情報を収集
	目標座標標定ソフトウェア	
	UAV接続装置	UAV（中域用・狭域用）の制御端末に接続、収集した動画情報をAIで処理（シンボル化）し、正蒼院に伝達
指揮統制	非地上系ネットワーク	主要島嶼との間に必要なシステム通信を確保
	民間通信網（LTE）等の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 島嶼内に展開する火力戦闘部隊間のシステム通信（正蒼院・FCCS・ADDCS）を確保 ○ 10数km四方に展開する自律戦闘部隊及び数km四方に展開する自律戦闘部隊の監視所間のシステム通信（情報共有ツール）を確保
	情報共有ツール	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目標情報収集用UAV等が収集した目標情報（種類、座標、行動等）を共有 ○ 広帯域多目的無線機と接続して、LTE不感地域においても通信を確保 ○ FCCS等と接続させ、監視所～射撃部隊間の目標情報を共有
	AIによる目標情報の処理	情報共有ツールからの目標情報をAIで処理（シンボル化）し、FCPに反映
打撃力	攻撃用UAV（爆弾等投下型）	情報共有ツールの目標情報（種類、座標、行動等）に基づき、砲弾等を投下して敵上陸部隊（人員、装甲車）を打撃
	攻撃用UAV（自爆型）	情報共有ツールの目標情報（種類、座標、行動等）に基づき、敵上陸用舟艇、敵上陸部隊（人員、装甲車）等に突入して打撃
機動	小型車両	陣地変換する火力戦闘部隊の防護、補給品輸送等を支援
防護	デコイ	敵衛星・UAVの可視光による偵察から補給品・施設を欺騙
	警戒・監視システム	センサ、カメラ、UAV等の情報を統合し、情報共有ツールにより自律戦闘部隊、後方支援部隊内で共有
	各種センサ	警戒・監視システムの一部として、火力戦闘部隊への敵地上部隊の近接を警告するとともに、統制装置を通じてCOPに反映
戦闘力の維持	輸送用USV	後方支援部隊が運用し、島嶼間において各種補給品（弾薬、燃料を除く）、患者を輸送
	輸送用UAV	
	輸送用UGV	後方支援部隊が運用し、島嶼内において各種補給品（弾薬、燃料を除く）、患者を輸送
	大型フォークリフト、コンテナ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種コンテナの荷揚、積載及び卸下を実施 ○ 後方支援部隊の一部で、小島嶼内における港湾地域～第一線に至るまでの一連の補給業務を実施
	3Dプリンタ・材料（樹脂／金属）	SSM等の装備品の軽微な修理に必要な小部品の応急的な製造
	ハンディ3Dスキャナ	設計図の元データを現物スキャン等により取得
	3DCADソフト	スキャン結果を基に、部品の設計図を作成
	延長野外救護器材 遠隔医療用装置	小島嶼において、患者の容態を保持するための救護及び治療を実施

教育訓練研究本部長 殿

「検証の礎」 部隊実験(実動検証)に資する情報提供意思表明書

所在地
企業名
代表者氏名

区分 _____

細部 _____ について、情報提供の意思を表明します。

1 企業名

2 所在地

3 提供する技術内容
付紙「提案する技術内容」

4 担当者所属部署、氏名

5 連絡先
電話
電子メールアドレス

提案区分	細部技術（技術製品名）	技術段階	会 社 名
		<input type="checkbox"/> 実用段階 <input type="checkbox"/> 実証段階 <input type="checkbox"/> 着想段階	

提案の概要

イメージ（要図、写真等含む）

仕様（機能・性能）

期待効果

費用（概算）

技術課題